

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

“休みの日、わくわくがいっぱい!”湧ゆう湧くわく体験塾が「入塾式」を行いました

町内の小学校4～6年生を対象に、地域の特性を生かした様々な体験を行う「湧ゆう湧くわく体験塾」が4月22日に入塾式を行い、この日を待ちかねた塾生19名(全塾生28名)が集まりました。

式では主催者である教育委員会社会教育課の坂本課長から「皆さんと会えるのを楽しみにしていました。元気な挨拶、仲間を大切にすること、そして自分から進んで行動することを大切に、協力して仲良く活動を進めていきましょう。」とエールをいただきました。

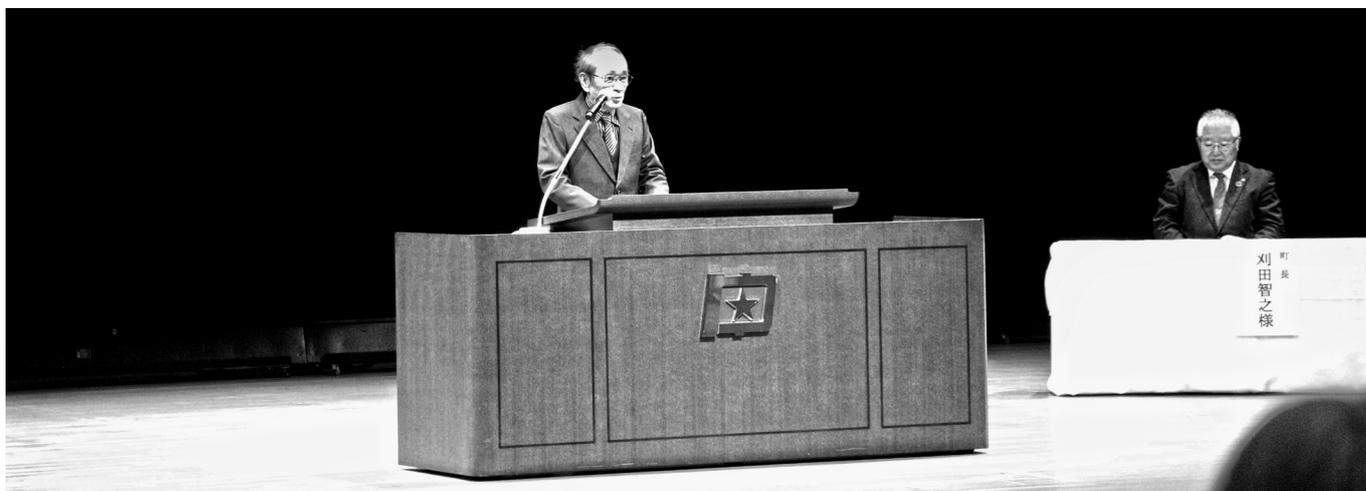


オリエンテーションでは「後出しジャンケン」を行いました。石塚洋司塾長の出したじゃんけんの掛け声に合わせて、あとから出す人が、“同じものを出す”、“勝つものを出す”、“負けるものを出す”とだんだんと難しくなり、何を出したらいいのか混乱も。続いては自己紹介リレーや、隣の人を紹介する他己紹介などが行われ、初めて参加した子どもたちも友達の名前を覚え、今後の活動に期待しながら入塾式に参加しました。



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう～高齢者教育推進目標～

チューリップ生きがい大学開講式を行いました



学生代表挨拶：岡村和雄さん

チューリップ生きがい大学の開講式が4月18日、文化センターさざ波で行われ、74名の学生（全学生110名）が参加しました。

式では、学長の阿部教育長から、「まだ油断はできませんが、コロナの対応にも少しずつ明るい兆しが見え始めています。これまでの仲間との繋がりを生かし、ますます充実した活動が進められますことを祈念いたします。」と挨拶がありました。

開講式後には学生自治会総会も行われ、今年度の具体的な計画を話し合いました。これから大学は、感染症対策にも留意しながら講演会や日帰り研修会などの学習会を月1回程度行うほか、研修旅行やクラブ活動などで学びと交流を深めていきます。

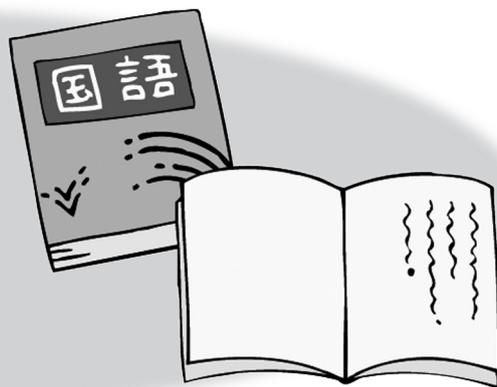
「チューリップ生きがい大学」では、途中入会も歓迎しています。仲間づくりや健康維持、さらには皆様の豊かな経験や知識を生かす機会として、町内に住むおおね60歳以上の方の入学をお待ちしています。お問い合わせや見学を希望される方は教育委員会社会教育課（5-3132）へお電話ください。



教科書展示会を開催します。

保護者や町民及び教育関係者の皆さんに実際に教科書を手にとってもらい、理解を深めていただくため、現在小・中・義務教育学校で使用している教科書及び令和6年4月から使用予定の教科書の見本を下記のとおり展示いたします。

ぜひこの機会にご覧ください。



開催場所	期間	時間	備考
文化センター さざ波ロビー	6月16日(金)～ 6月29日(木)	午前9時～午後10時 (月曜日は午後5時まで)	
中湧別図書館	7月1日(土)～ 7月11日(火)	午前10時～午後6時	休館日 7月3日(月) 7月10日(月)

「ハレーエッセイ」「スポーツ推進委員さんのある一日」 第150回

昨年のことになりますが、私は7月に士別市で開催された「第35回士別ハーフマラソン大会」に参加しました。この大会は世界や日本のトップランナーが多数参加する珍しいローカル大会です。昨年は東京五輪男子マラソン代表の服部勇馬選手や2012年ロンドン五輪女子マラソン代表の木崎良子選手が一般市民ランナーと一緒に走っていました。近くで見る一流選手の走りは綺麗なフォームで感動します。「オリンピック選手、めっちゃ速っ!!」並んで走ることはできなくても高いレベルの選手と同じ時間に同じコースを走っていると思うと気持ちが高まります。



今年は6月に4年ぶりのサロマ湖100kmマラソン大会が開催されます。私も4年ぶりの参加になります。こちらの大会も国内外で活躍している選手が参加されると思います。一流選手との触れ合いは簡単には体験できないことだと思います。大会が開催されることに感謝の気持ちを持って壮大なサロマ湖を走り抜きたいと思います。

スポーツ推進委員 水牧 一郎

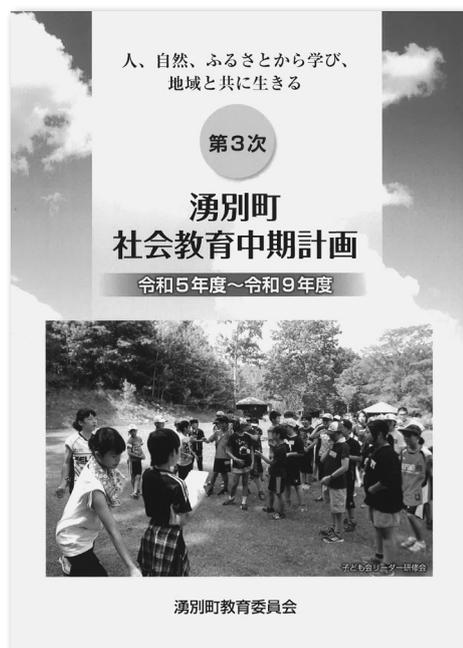
第3次湧別町社会教育中期計画を策定しました

テーマ “人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる”

新たな社会教育行政運営の指針となる、令和5年度から5カ年の第3次社会教育中期計画が策定されました。

計画では、基本テーマに「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」と設定し、社会教育における幅広い分野を10の領域に分けた上でつぎのとおり目標設定しています。

領 域	社会教育中期計画における推進目標
家 庭 教 育	子どもは町の宝 手を取り合い支え合って育てよう
少 年 教 育	少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう
青 年 教 育	青年は町の原動力 自らを磨き高めよう
成 人 教 育	成人は町の大黒柱 すすんで地域に関わろう
高 齢 者 教 育	高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう
芸 術 ・ 文 化 活 動	芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう
図 書 館 活 動	図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう
文化財保護活動 博物館活動	文化財は町のキセキ 歴史を訪ねて未来へつなげよう
ス ポ ー ツ 活 動	明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう
生涯学習の基盤整備	生涯学習の基盤整備は社会教育のかなめ いつでも、どこでも、だれでも参加し楽しもう



今後はこの推進目標の下に設定されているさまざまな方策の達成を目指して、事業運営に取り組むこととなりますので、町民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、計画の策定にあたっては諮問機関である社会教育委員の会をはじめ、図書館協議会委員、スポーツ推進委員に熱心な審議をいただくことで、より専門的かつ地域住民に身近な立場から計画づくりが行われました。委員の皆様ありがとうございました。

なお、計画書や策定までの審議内容などは町ホームページからご覧いただけます。

こちらから



ホームページ

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

新たに、「湧別町」を「知る!」ことのできる資料を受け入れました。～ご紹介します!～



「野にあるように 九十三歳の今」

黒川つ江子さんの自分史。大正末期、母と兄妹、芭露で過ごした幼少期が描かれています。ずっと、「ちえこ」の名前で生活してきたけど、実は戸籍上は、「つえこ」だったという話が、時代感を感じました。



「かまわん」

公益財団法人大友福祉振興財団創設者、大友正吾さんの回顧録。(黒川つ江子さんの兄)豊かな家が圧倒的に少なかった時代、立派な大人になることを目指し、自分の才覚で荒波を乗り越り事業を成功させていきます。



「北海道の図書館員が薦めるブックガイド」

179市町村の図書館・図書室へ、「わが町を知ってもらおうなら!」というアンケートを実施し、本書が誕生しました。「旅と図書館」を楽しむことができる一冊です。



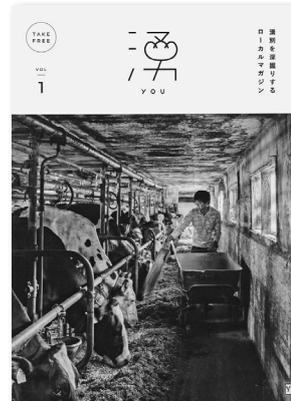
「みんなでつくる!花マップ 北海道フラワー2022リポート」

北海道に咲く花の開花状況をデジタル化しビジュアルな地図で示します。ゆうべつアウトドアクラブ YU-PALがこの活動に参加し、貴重なデータを収集しています。



「ざつ旅7」

「表紙」が「中湧別駅」のコミックです。新人漫画家の鈴ヶ森ちかが、全国津々浦々の旅に出ます。7巻が、憧れの地・北海道を旅します。そして、湧別町へ。



「湧-YOU-」

有志のみなさんが制作した湧別を深掘りする情報誌。「湧別」に対する想いが伝わる写真と記事が魅力です。第2弾を楽しみ待ちましょう!

6月の図書館休館日

6月5日(月曜日)、12日(月曜日)、19日(月曜日)、26日(月曜日)、30日(金曜日)

*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10:00 ~ 18:00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150 lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】 2週間

湧別図書館 電話 5-3122 lib-y@town.yubetsu.lg.jp

博物館シリーズ
「湧別の2つの博物館」

国際博物館の日

博物館だより
—ふるさと館 JRY・郷土館—
【第160号】

5月18日は「国際博物館の日」です。博物館が社会に果たす役割を広く普及啓発することを目的として、ICOM（国際博物館会議）によって昭和52年（1977年）に制定されました。ふるさと館JRYもこの活動に賛同し、湧別にある2つの博物館「ふるさと館JRY」と「郷土館」について、注目資料と共にご紹介します。

ふるさと館JRY



ふるさと館JRYは屯田兵の入植100年を記念して建てられた博物館です（上段左写真：平成8年8月1日開館）。

博物館に収蔵・展示されている資料は、明治30・31年の屯田兵入植やその後の開拓に関する道具及びが文書が中心ですが、昭和の戦後の頃の道具も多くあります。屯田兵に関する資料の中で最も重要なものの一つに、「屯田兵屋」があります（中段写真）。これは屯田兵が実際に生活していた住宅を移築展示したもので、北海道の明治開拓期の生活を知るうえで重要な資料です。



郷土館は湧別地区の郷土史を紹介するために建てられた博物館です（下段左写真：昭和50年11月30日開館）。

何度か展示のリニューアルが行なわれましたが、注目は平成16年10月のものです。芭露地区で発見された「3万年前のナウマンゾウ臼歯の化石」が町に寄贈されたため、特大のパネルと共に展示が始まりました（下段右写真）。この化石は、北海道の寒冷期から温暖期への変化様相を考えるうえで重要な資料と評価されています。

郷土館



どちらの施設も、湧別の歴史を知ることができる地域に根ざした博物館です。両施設とも町民無料ですので、お気軽にご利用ください。

【開館時間】9時00分から16時30分まで（入館は16時まで）
【休館日】月曜日（祝日は開館）
年未年始（12月30日から1月4日）

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2023年5月号 No.160

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…中湧別印刷（中湧別南町）発行…令和5年5月25日

記事へのお問い合わせは下記へ

* 社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

* 湧別図書館……………電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

* 中湧別図書館……………電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

* ふるさと館 JRY……………電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200

※湧く湧くで紹介する事業の予定は、今後の社会情勢によっては、中止や延期となる場合もあります。ご了承ください。